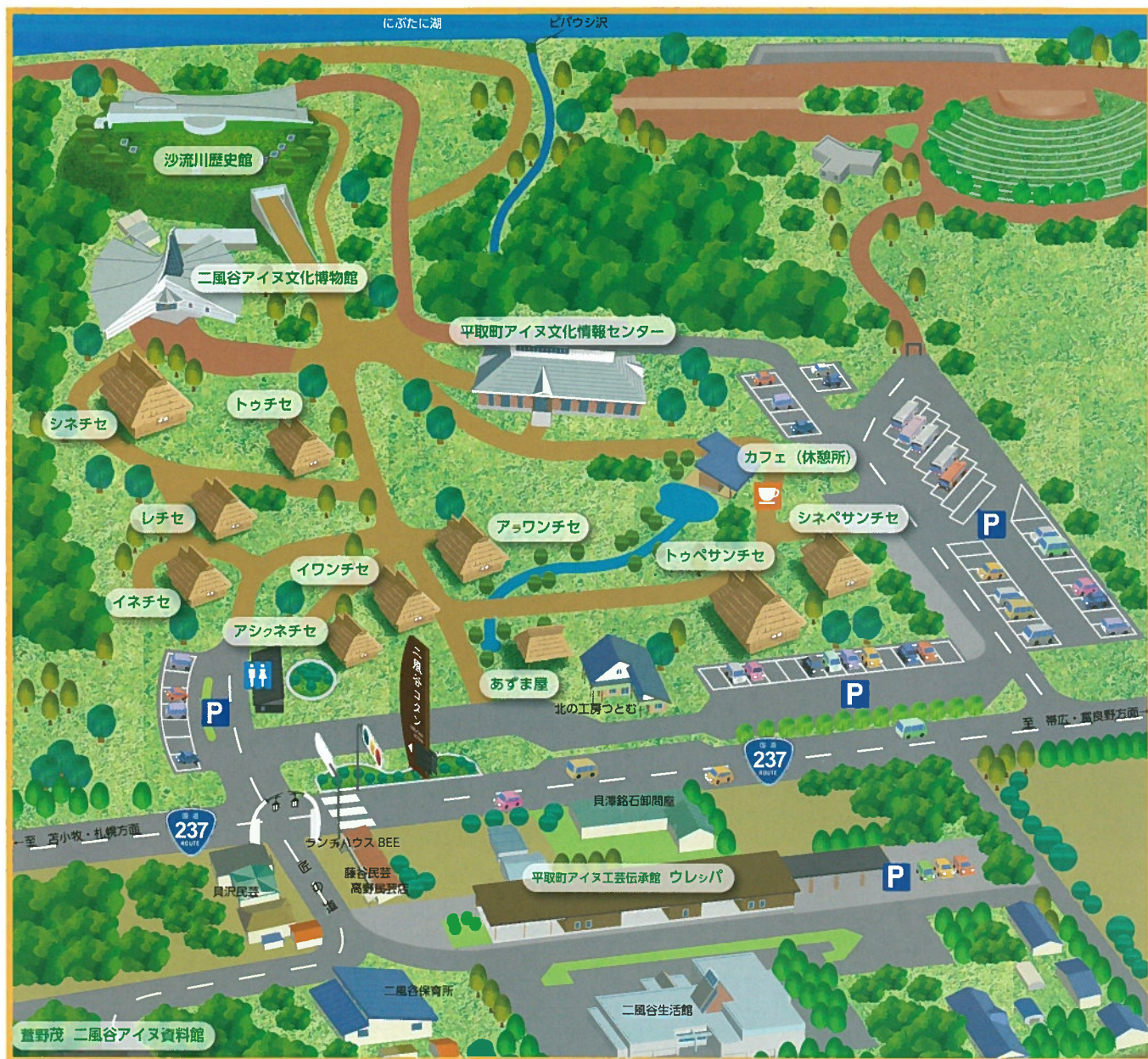


ジンリムカ 文化財だより

平取町立二風谷アイヌ文化博物館・沙流川歴史館

2019. 4. 26

No. 2



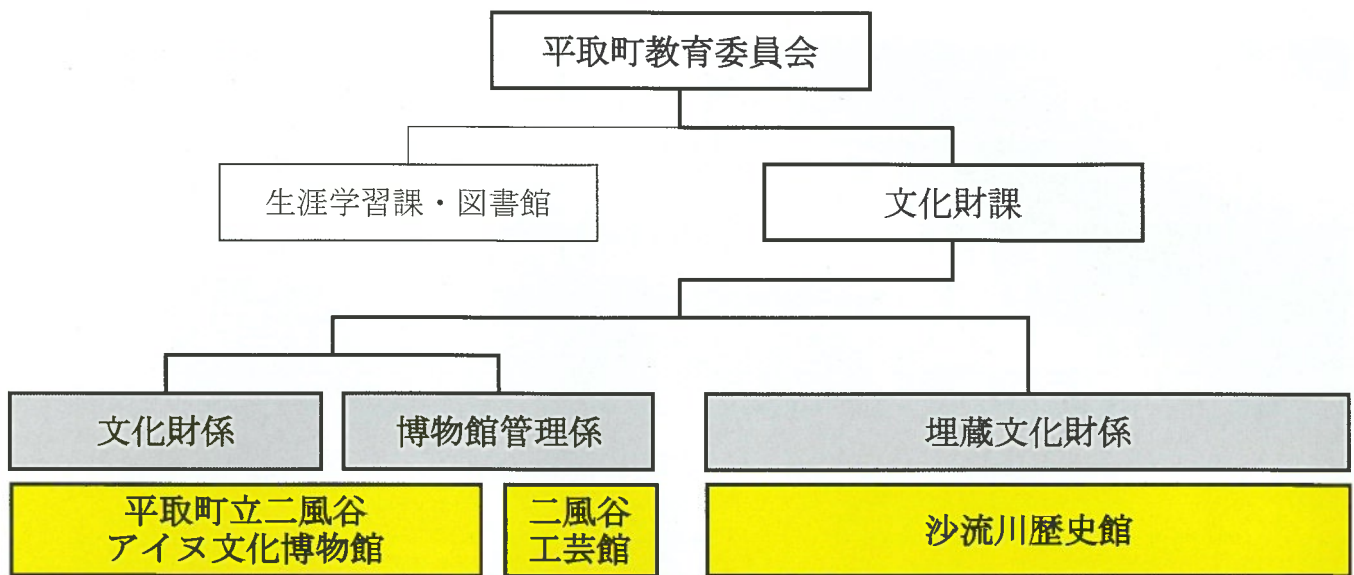
「二風谷コタン」オープン

2016（平成 28）年度から博物館周辺で進められてきた整備事業がこのほど完了し、「二風谷コタン」として生まれ変わりました。ここでは、現在の二風谷の生活の様子を感じつつ、アイヌ先住民族の歴史や文化を学ぶことができ、また、未来を想像する場所としての思いも込められています。緑地化された園内にはカフェ（休憩所）も設けられ、二風谷コタンの景観を楽しむこともできます。さらに、国道を挟んだ二風谷生活館の向かいには、新たに平取町アイヌ工芸伝承館「ウレシパ」もオープン。こちらは、アイヌ工芸の魅力発信や人材育成の拠点として整備され、木彫や刺しゅう、レーザー加工などの体験メニューも用意されています。

ぜひ新しくなった「二風谷コタン」へ足を運んでいただき、「コタン」の景観とアイヌ伝統工芸の世界やアイヌの精神文化を体感してください。（森岡健治）

2019 年度 文化財課職員体制

今年度の平取町教育委員会・文化財課の職員体制をお知らせします。



館長 森岡 健治（文化財課長 / 学芸員）
主幹 長田 佳宏（学芸員）
主査 関根 健司（学芸員補）
事務員

廣岡 絵美（文化財係 / 準職員 / 学芸員）
笠原 早百合（文化財係 / 嘱託職員）
小林 斉子（博物館管理係 / 嘱託職員）
関根 真紀（二風谷工芸館 / 嘱託職員）



館長 森岡 健治（文化財課長 / 学芸員
兼埋蔵文化財係長）
主事 本田 卓也
事務員

田中 真澄（準職員 / 学芸員）
久米 智江（嘱託職員）
佐々木 知代（嘱託職員）
坂本 エミ（嘱託職員）

旧マンロー邸内部一般公開（5/1～10/31）

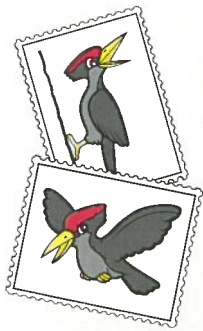
10人以上の団体限定です。見学希望日の1か月前までに博物館まで予約してください。



「ダムカード」好評配布中

「二風谷ダム」のほかに「平取ダム（建設中）」のダムカードも沙流川歴史館で配布しています。
（田中真澄）





「切手の歴史展」 4.23(火)～5.26(日)

郵便切手を利用した制度は、1840年にイギリスで開始されました。日本で最初に切手が発行されたのは、それから31年後の1871（明治4）年4月20日です。

中央に額面表示、周囲に竜のモチーフが印刷された「竜文切手」が発行されました。その切手が発行されてから約150年が経過した現代、メールやSNSが普及し切手の需要は減ってしまいましたが、『小さな紙』の中にその時代に起きた出来事や流行ったもの、名所、動物、植物など色々な情報が刻まれています。そのようなデザインを見ているだけで、ワクワクするほど切手にはたくさんの魅力があると思いませんか。

沙流川歴史館で開催中の企画展「切手の歴史展」では、日本をはじめ世界各国の切手を約2千点展示しています。切手の歴史や図案の解説もごさいます。ぜひご来館ください。

《移動展》 ※企画展終了後、以下の3会場でを行います。

- ・役場貫気別支所：5/28(火)～6/10(月)
- ・ふれあいセンターびらとり：6/11(火)～24(月)
- ・振内町民センター：6/25(火)～7/8(月)

(佐々木知代)



アイヌ工芸伝承館「ウレシパ」



2017（平成 29）年度から 2018（平成 30）年度にかけて整備を進めてきた平取町アイヌ工芸伝承館（愛称：ウレシパ）は、アイヌ工芸の伝統が息づく「匠の道」にあり、体験交流を通じたアイヌ工芸の魅力発信や工芸家を志望する人たちが技術を学び、平取を訪れた観光客や町民の皆さんが気軽に工芸を体験できる場としてオープンしています。施設運営は「一般社団法人びらとりウレシパ」が行っており、常駐の職員がいますので、内部の見学も可能です。

この施設では、伝統的な男の手しごとから、女の手しごとのスペースのほか、レーザー加工機などの最新の機器や簡単に扱える日曜大工の機器もあり、さまざまな体験プログラムを提供していきます。



■施設の貸館等

- ・開館時間 9:00 ～ 17:00（月曜日休館 月曜日が祝日の場合は、翌日以降の平日が休館）
- ・貸館については、電話などで事前に申し込みをしてください。（TEL 01457-3-7501）

（アイヌ施策推進課長 武田弘幸）

重要文化的景観

—重要な構成要素の紹介 2—

ウカエロシキ（二風谷区域：アイヌの伝統を伝える山野と集落の景観）

沙流川流域には人文神オキクルミにまつわる伝承地が数多く所在します。その中にウカエロシキという親子グマ 3 頭の形をした岩があります。二風谷ダム管理所から見て、にぶたに湖対岸に見ることができます。オキクルミに追われた親子 3 頭連れのクマが、逃げてどうしても獲られることを拒み続けたので、腹をたてたオキクルミにより岩にされてしまった、という地域住民によるウパシクマ（言い伝え）が残されている場所です。

3 頭のクマは、一番上が 2 オグマで、次が当オ（生まれた年）、一番下のが母親グマであるとされています。自然の造形を動物に見立て、沙流川流域のオキクルミ伝承として語り継いできた大事な場所ですが、2018（平成 30）年 9 月 6 日の北海道胆振東部地震により母親グマの頭部に当たる部分が崩落してしまいました。頭部分だけでも何トンもあるような巨大な岩塊であり、現存部分も激しい振動による劣化が推定されることから、復元は難しい状態にあります。

地震のあった 9 月は広葉樹が生い茂る時期だったため、崩落の様子をしっかりと把握できない状況でした。そのため、冬の間に関地を再確認したところ、親グマの頭が欠けているものの、山を登る 3 頭の親子グマの様子をしっかりと確認することができました。

自然の造形は常に形を変え続けています。そうした中、いま私たちにできることは、受け継がれてきた地域住民の想いとウパシクマの文化的価値、様々なカムイに対する信仰・世界観をしっかりと継承し、大地震の記憶を語り継いでいくことだと思います。2018（平成 30）年 9 月の震災と 3 頭の親子グマの岩は、そのことを改めて私たちに教えてくれました。（長田佳宏）



にぶたに湖右岸（二風谷ダム堤体横）に所在するアイヌ伝承地「ウカエロシキ（通称クマの姿岩）」（2019 年 3 月 5 日撮影）

アイヌ語を覚えてみよう ②

イランカラプテ！（こんにちは！）

今回は、アイヌ語をカタカナで書く時に使う、小文字についてお話します。イランカラプテの「プ」がまさにこれですね。では、この言葉を例としてご説明しましょう。まずは、これをローマ字で書いてみます。irankarapte と、11 個のアルファベットで書けました。このアルファベット 1 つ 1 つを「^{おんそ}音素」と言います。音の^{もと}素ということで、音を作る最小の単位です。これとは別に「^{おんせつ}音節」という言葉があります。これは、音として発音できる最小単位のことです。では、この音節に気をつけながら、声に出して言ってみましょう。

i は、イ でいいですね。1 つの音素がそのまま 1 音節（1 つの音）となっています。しかし次の r これが発音できません。なぜなら r は^{しいん}子音だからです。

子音は母音^{ぼいん} a i u e o（ア、イ、ウ、エ、オ）のどれかとくっ付くことで、はじめて音として発音できるのです。r は後ろの a とくっ付き、ra（ラ）と発音できます。しかし、さらにその後を見てください。nk となっています。子音+子音と、子音が連続するところも発音できないのです。この子音と子音の間が、音の切れ目となります。n は直前の ra とくっ付いて、ran(ラン)という音節になります。アルファベットで書けば3文字、カタカナなら2文字ですが、この ran(ラン)が、これ以上は分けることのできない1つの音(1音節)ということになります。続けて見ていくと、k も子音なので後ろの a とくっ付いて ka（カ）という音節に、その次の r も子音なので、後ろの a とくっ付き、ra（ラ）と発音できますが、ここもその後ろが、pt と子音が連続しているので、この子音と子音の間が音の切れ目となります。p は直前の ra とくっ付いて rap（ラブ）という音節に、最後に残った t と e で te（テ）という音節になります。

では、おさらいしてみましょう。音節で区切ってみると、

i/ran/ka/rap/te（イ / ラン / カ / ラブ / テ）

と、5 つの音（5 音節）で出来ている言葉だと判明しました。

カタカナで書くと7文字必要ですが、音としては5つしかないということです。カタカナは日本語を書き表すために発達した文字なので、日本語を書く場合、「1文字1音節（1つの音）」の原則が生きています。しかしアイヌ語をカタカナで書く場合には、この原則を当てはめることができないのです。もし rap（ラブ）の p（プ）を小文字にしないで、大文字で書いてしまうと ra/pu（ラ / プ）と、2音節ということになり、違う言葉のようになってしまいます。そうではなく、「2文字になるけれど、最後が子音で終わっている1つの音なんですよ。日本語とは違う音なんですよ。」ということをはっきり表すために、ラブ と プ を小文字にするのです。アイヌ語の小文字表記にはこのような理由があるのです。

ヤクン パクノ ネ。スイ ウヌカラン ロー！（それではここまでです。またお会いしましょう！）

（関根健司）

歴史の散歩道 No.1

松浦武四郎 ～北海道の名付け親～

沙流川流域を2回探検しました

今回は、江戸時代末から明治にかけて活躍した探検家の松浦武四郎を紹介します。

武四郎は、1818（文化 15）年に伊勢国一志郡須川村（現在の三重県松阪市小野江町）の郷土、松浦佳介の四男として生まれました。武四郎は13歳から3年間、儒学を学びます。そこで様々な学者や文人と出会い大いに影響を受けます。その後、17歳で全国各地を巡る旅に出ます。長崎で、ロシアを含めた外国が勢力を広げるために蝦夷地を狙っていることを知り、日本の危機を感じた武四郎は自ら蝦夷地を調べようと決意します。そして青森から蝦夷地を目指します。しかし、当時は松前藩の旅人への取り締まりが厳しく、一旦断念します。翌年の1845（弘化2）年に第1回蝦夷地探検を行い、1858（安政5）年までに6回の蝦夷地調査を行います。3回目までは自費で調査を行い、報告書や地図を作成しました。その功績が評価され、4回目以降は幕府の役人として行きます。広大な蝦夷地の探検を行い、詳細に記録した数多くの調査資料を残しました。

探検は、道案内として各地のアイヌの協力を得て、寝食をともにしながら進めていきました。4、6回目では沙流川流域を探検します。ホロサル（現在の平取町振内付近）でアイヌの人たちの立派な住まいに驚き、和歌を残しました。平取では5首詠んでいます。

明治維新後は、蝦夷と呼ばれていた名称を「^{ほっかいどう}北加伊道」他いくつかの改定案を出し、現在の支庁名や郡名などの選定にも関わったことから「北海道の名付け親」として知られています。職を辞めた後も、古銭・古鏡・土器・石

器・仏像などの収集を行い、70歳で富士山に登ったりもしました。

1888（明治21）年、71歳で亡くなるまでに、歴史、紀行文、地図、アイヌ語の地名案内などの書籍を数多く残しています。（久米智江）



松浦武四郎
『松浦武四郎記念館図録』より掲載

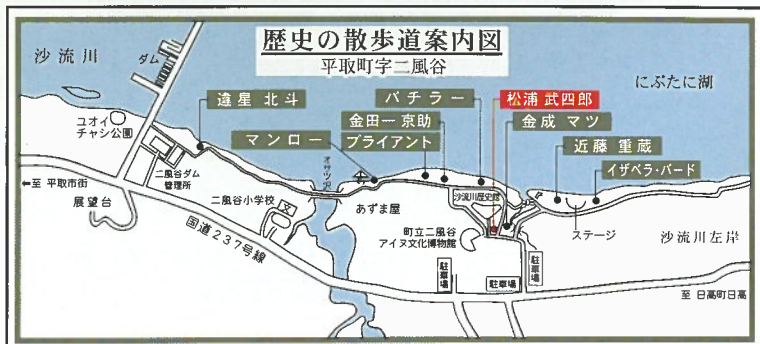


松浦武四郎記念碑



放送日決定!!

二風谷でもドラマの収録が行われました
(画像提供 NHK)



旧荷負小学校 開拓財産展示施設オープン

旧荷負小学校内に収蔵展示されている開拓財産は、春の大型連休明けより見学可能となります。ただし、施設は無人のため、見学希望の場合は 1 週間前までに二風谷アイヌ文化博物館、または沙流川歴史館までお申し込みください。

【ご予約・お問い合わせ】

平取町立二風谷アイヌ文化博物館 TEL 01457-2-2892

沙流川歴史館 01457-2-4085

(廣岡絵美・小林斉子)



A	商業・生活
C	学校
D	地域の記憶
E	いろいろな道具たち
G	林業・馬具
I	収穫 (秋)
J	畑・稲作 (春)
K	家での暮らし
L	壁面展示

B・F・H 関係者専用

2019.
5 . 7
受付開始



A 商業・生活

帳場台、そろばん、皿秤さらはかりを展示し、昔の商店の様子を再現しています。当時の人が使用していた火鉢や石炭ストーブ、石臼や焼き型など生活に関わるものも多数あります。

C 学校

昔の教材や教具とともに、昭和の小学校の教室を再現しました。廊下には平取町内の小・中・高等学校の地図と校歌のパネルを展示しています。皆さんが通っていた学校の校歌を探してみてください。



平取町立二風谷アイヌ文化博物館

■国際博物館記念事業

ICOM（国際博物館会議）では、5月18日を「国際博物館の日」としています。記念事業の一環として、無料開館および記念品の贈呈を行います。ぜひお越しください。

期日：5月18日（土）9:00～16:30

対象：19人以下の個人

平取町

■第9回ウレク（音楽ライブ）

期日：6月22日（土）14:00～

場所：二風谷生活館

問合先：アイヌ施策推進課

TEL 01457-2-2341

編集後記

『天皇陛下御在位三十年記念ダムカード』は、5月31日までの期間限定配布です。まだお持ちでない方は、10連休も休まず開館している沙流川歴史館にどうぞお越しください。（本田卓也）

沙流川歴史館

■企画展「切手の歴史展」

期間：4月23日（火）～5月26日（日）

場所：沙流川歴史館エントランスホール

休館日：5月7日・13日・20日

※大型連休期間中は休まず開館します。

■移動展「切手の歴史展」

□役場貫気別支所

期間：5月28日（火）～6月10日（月）

□ふれあいセンターびらとり

期間：6月11日（火）～24日（月）

□振内町民センター

期間：6月25日（火）～7月8日（月）

※休館日は各施設で異なります。

■レンタサイクル実施中

10月末まで、無料で自転車の貸し出しをしています。自転車で二風谷コタンを散策してみませんか。

沙流川歴史館窓口で受け付けをしています。ぜひご利用ください。

2019年4月

日	月	火	水	木	金	土
31	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	1	2	3	4

歴史館 企画展

2019年5月

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1

● 歴史館 休館日

2019年6月

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

※4/16～7/31 博物館は休まず開館しています

2019年7月

日	月	火	水	木	金	土
30	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3



シシムカ文化財だより No.2

2019年4月26日発行

編集・発行／平取町教育委員会文化財課

平取町立二風谷アイヌ文化博物館

北海道沙流郡平取町字二風谷 55

TEL 01457-2-2892

FAX 01457-2-2828

E-mail nah@town.biratori.lg.jp

HP <http://www.town.biratori.hokkaido.jp/biratori/nibutani/>

アイヌ文化博物館
Facebook 更新中！



沙流川歴史館

北海道沙流郡平取町字二風谷 227-2

TEL 01457-2-4085

FAX 01457-2-4086

E-mail sar.muse@town.biratori.lg.jp

沙流川歴史館
Instagram 更新中！

